

財団法人全日本スキー連盟 バックカントリー講習会 開催要項

1) 趣 旨

本連盟では、協力団体社団法人日本山岳ガイド協会と提携し、同会が実施する「自然ふれあい集会」の期間を利用し、新しい分野であるオフ・ピステスキーと自然観察に関する講習会を開催します。

同地域で、山岳ガイドとのモデル・ガイディングを体験し、国立公園等の自然公園における将来のオフ・ピステスキーのあり方を研究・調査し、安全管理と環境保全という社会的な要請を踏まえ、新しい分野での社会的役割を創出したいと考えます。

このような趣旨を理解いただき、この機会に将来この分野に興味を持つ関係者を誘い合わせていただき、多くの方の参加を期待します。

2) 主 催

財団法人全日本スキー連盟教育本部 / 社団法人日本山岳ガイド協会

3) 後 援

環境省

4) 協 力

社団法人日本山岳ガイド協会自然環境委員会
立山山荘協同組合、立山黒部貫光株式会社

5) 期日、開催場所

平成21年 4月13日(月)～15日(水)の立山連峰

6) 宿泊予定施設 立山室堂平周辺の協力宿泊施設

雷鳥荘予定(特別宿泊代金8,000円/泊 現地個人精算)

7) 参加資格および参加義務

バックカントリーに興味があり、スキーバジテスト1級程度以上の技術があり、全日程参加できる方。

本事業の趣旨に賛同する者。

環境省、地元自然保護団体および地域関係諸機関(交通、宿泊)との各種調整(雷鳥保護のための施策、安全管理のための施策および交通機関における一般との分離施策等々)に沿って本会および社団法人日本山岳ガイド協会が定めた、地域の制限を遵守できる者。(状況により交通路が指定日、指定時間のみになることもあります。)

指定の交通機関、宿泊施設を利用すること。

日程中に開催する、本会および社団法人日本山岳ガイド協会の環境または安全管理の講義(90分)に必ず出席すること。

山岳関係の保険に加入していること。未加入の場合は本連盟の勤める保険に加入すること。

この時期の立山地域は、観光客、一般のスキーヤー、スノーボーダー等の入域を制限しています。

8) 参加申込について

参加者は、申込書と現在加入している山岳対応保険証券の写しを添付して、財団法人全日本スキー連盟教育本部事務局宛に**4月3日(金)必着**で郵送してください。
4月3日以降の申し込みは一切受付ません。

申込先 財団法人全日本スキー連盟教育本部
〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館
TEL 03-3481-2315 FAX 03-3481-2318

締 切 **4月3日(金) 厳守**

最少催行人数 10名

保 険 山岳対応保険に加入することが必須条件です。未加入の方は、受講決定通知で案内をする保険に加入してください。

申込み締切後、受講決定通知をFAXで送付いたします。間際の募集となり大変ご迷惑おかけしますが何卒よろしくお願ひします。

9) 費用について

費用はすべて個人負担です。現地にて徴収します。

- ・ 受講料 10,000円
- ・ 立山アルペンルート交通費 8,000円程度
- ・ 環境協力費 2,000円
- ・ 宿泊代金 16,000円(8,000円×2泊)
- ・ 集合場所までの交通費等

10) 交 通

扇沢駐車場(無料駐車場、有料駐車場ともに)オープン予定です。車で来られる方は事前にご確認ください。

11) 講 師

佐伯岩雄(特別講師 立山ガイド協会) 清水伸也(全日本スキー連盟)

12) 装 備

同封のバックカントリースキー標準装備表を参考に各自で準備してください。
なお、用具等の貸し出しはできませんので予めご了承ください。

本事業に関する問合せ

S A J 教育本部スキー振興部 担当：清水

Tel 090-8723-7891

日 程

[現地の天候、積雪状況、交通路の状況により予告なく日程内容が変更されることがあります。]

- 4月13日(月): 10:00 扇沢集合
(自家用車、または大町よりの定期バスで集合)
- 12:00 アルペンルートで室堂へ。
到着後、宿舎に移動。
- 13:00 オリエンテーリング
- 13:30 講習会
国見岳周辺の地形を利用し、シール登高および不整地滑降時の安全管理を講習。
- 16:00 講習終了、宿舎へ。
- 17:30 夕食
- 18:30 講義(オフ・ピステ スキーの安全管理)
- 4月14日(火): 06:00 朝食および準備
- 08:00 講習会
(終日、一の越～浄土山御山谷周辺地形にてオフ・ピステスキー技術の講習。山岳地におけるルート選択と安全管理技術を含む。)
- 13:00 昼食
- 14:00 雪崩対策技術と危急時対応技術
- 16:00 講習終了
- 17:30 夕食
- 18:30 講義(自然公園利用と環境保護)
- 4月15日(水) 06:00 朝食および準備
- 08:00 講習会
(半日、一の越～御山谷周辺地形にてオフ・ピステスキー技術の講習。)
- 13:00 滑降後、黒部ダムにて解散。

この時期の立山・剣連峰は、まだ積雪期であり、風雪、雪崩、雪庇崩壊、ホワイトアウト等々の多くの危険要素が存在します。講師および同行山岳ガイドの諸注意に従って下さい。また、本講習会申込者は、自身の経験および、自然体験の能力をよく把握して、慎重な対応をして下さい。環境保護にあたっては、行動中の携帯トイレ等の携行を義務付けることがありますので注意下さい。

[装 備]

この時期、この地域に対応出来る装備を持参して下さい。

以 上

今事業について環境省へは、社団法人日本山岳ガイド協会を通じて、以下のとおり報告しておりますのでご承知おきください。

積雪期における立山・室堂地域の利用について

本事業は、立山・室堂地域において積雪期にこの地域を利用するにあたりどのような形で利用するのが、自然環境保全、安全管理対策として望ましいことかを調査、研究するために実施いたします。実施期間中は、立ち入り及び利用の制限されている地域を利用することとなります。よって下記の要件を十分に理解し、逸脱しないようにいたします。

- 1、立山稜線の室堂側においては、指定区域、幅以外のスキー滑降は行わない。
- 2、稜線にあがるまでは、原則として1本のトレースを利用する。下降時も同様に1本のトレースを利用する。(スキー滑降の場合は、単一のシュプール)
- 3、環境保全のため、必ず携帯トイレを利用し、登山終了後、一括して集め、処理する。
- 4、一般利用者は、立ち入りを制限されているため、そのことを理解したうえで、参加者証を提示し、制限地域や交通機関の利用に努める。

本協会は、これらの要件を実行するにあたり、関係諸機関と協議し、協力を得ます。特に立山黒部貫光株式会社とは、十分な協議を行い、一般利用者への誤解等を生まないように周知徹底を図ります。その方法は、以下の通り行なう予定です。

- 1、扇沢、黒部平、室堂の各交通機関利用入口に本事業の開催目的とその内容を明示した説明文を掲示する。
- 2、本事業参加者は、参加者証を表示し、立山黒部貫光株式会社職員および一般利用者が理解できるように態勢を整える。

本協会のこの事業における目的は、調査研究を通じ、積雪期の立山・室堂における適切な自然公園利用の仕組みを確立することにあります。本協会の考える積雪期とは、富山県登山届出条例に明示された5月15日までとしています。つまり、4月下旬、5月上旬におけるシーズンにおいても、適切な利用制限を設けることにより、環境保全の有効な手立てと考えています。同様に秋のシーズン(11月末まで)においても適切な利用システムを設ける土台と考えています。

適切な利用の仕組みには、次のことが考えられます。

- 1、積雪期の入域人数制限する。
- 2、山岳ガイド、自然ガイドを伴う場合に、利用の指導されるとの条件のもと入域を認める。
- 3、同時期に、各種公益団体との共催研修を開催し、自然公園利用における理解と利用方法について研鑽する。

環境先進国(必ずしも経済先進国ではない)においては、保護地域においては、ガイドを伴う場合のみ立ち入りを認める場合が多い。またガイドが同行しなければ、登山道すら歩くことが許されない場合も多くあります。このことを考慮して、立山・室堂地域においてガイドを伴った場合の公園の適正利用の方法を検討していきたいと考えています。

バックカントリー講習会参加申込書

財団法人 全日本スキ - 連盟 会長殿
下記のとおり申込ます。

記入年月日（西暦） 年 月 日

氏名 ふりがな	生 年 月 日（西暦）				性別
	年	月	日	歳	男女
住所	〒 TEL 携帯電話 FAX e-mail				
技術程度	（該当項目に 印を付してください。） 有資格者（ 指導員 ・ 準指導員 ・ パトロール ） プライズ 1 級 1 級程度				
保険加入	加入済みの保険証券の写しを添付してください。 内容により、SAJの推奨する保険に加入していただく場合もございますので 予めご了承ください。				
何か連絡 事項が あれば記入 下さい					

【個人情報の取り扱いについて】
この個人情報は、バックカントリー講習会の運営のみに使用されることに
同意します。